

News Letter

医師・研究者キャリア支援センター Vol. 28 2018/5/22

新メンバーが加わりました！！

アドバイザー・園医就任のご挨拶

アドバイザー就任のご挨拶

高橋 将文 先生 (たかはし まさのり)

分子病態治療研究センター・細胞生物研究部、大学院本務教員



今年度より、キャリア支援センター・企画推進部門・アドバイザーを担当することになりました。

センターのミッションのうち、主に、次世代育成支援活動を担当します。育児、復職、時短勤務などの支援は、教育、研究、および診療分野で働く教職員に対して行うものですが、次世代育成支援は、学部生や大学院生を含めた自治医大に属するすべての若手のための支援になります。様々な立場にある学部・大学院生や若手の医師・教職員・博士研究員が今後キャリアを形成していく中で、今共有すべき重要なことは何か?を考え、次世代医師研究者交流会、Jichi Joy Café、働き方セミナー等の企画に反映させていきたいと思っております。また学内には、若手医師向けの病院関連の行事 (All Jichi Project)、大学院関連の行事 (大学院生ワークショップ)、部局毎の支援などがあります。私は、キャリアセンターが積極的に各部局と横断的に関わりを持つことで、大学として良い企画ができると考えています。そのためには、キャリアセンターからの情報発信、他部局との情報共有に力を入れたいと思っております。皆様方の要望も随時お寄せ頂きますと大変有り難いです。どうぞ宜しくお願いいたします。

アドバイザー就任のご挨拶

加藤 梨佳 先生 (かとう りか)

精神医学講座 病院助教



平成 30 年度 4 月からアドバイザーに就任いたしました。Jichi Joy Café に参加させて頂いたのをきっかけに、昨年度から医師・研究者キャリア支援センターの講演会やアンケート調査などの活動のお手伝いをしています。

現在は精神科医として診療と研究をメインに仕事をしていますが、10年以上産業医として労働者の仕事と健康の支援をしてきました。これまでの経験を活かし、微力ながら子育てや介護、ご自身の疾病などと仕事との両立支援のお手伝いをさせて頂きたいと考えています。宜しくお願い致します。

園医 (保育ルーム「あいりす」) 就任のご挨拶

横山 孝二 先生 (よこやま こうじ)

小児科 講師



平成 30 年度の保育ルーム「あいりす」の園医を担当することとなりました小児科の横山と申します。

「あいりす」は、当センターの育児支援部門として自治医科大学に勤務する教職員の皆さまのキャリア支援や就労支援を目的に運営されています。当保育ルーム (病児保育を含む) を利用される教職員の方々が安心してお子さんを預けられる環境づくりに努めて参りたいと考えています。ご意見等ございましたら、どんな些細なことでも構いませんのでおっしゃってください。

宜しくお願い致します。

☺ 育児支援部門 保育ルーム「あいりす」についてのご案内 ☺

保育ルーム「あいりす」は平成30年3月末日現在、利用登録会員は169名（266名のお子さま）となっております。多くの方々にご利用いただいております。

自治医大にお勤めのすべての方がご利用いただく事が出来ますが、事前の登録が必要となります。

一時託児、病児保育、夜間保育のご利用内容については、自治医科大学 医師・研究者キャリア支援センターのホームページをご参照ください。

また、保育ルーム「あいりす」では、利用会員を対象に

- ① 毎月第4月曜日午前中に「あいりすタイム」（利用会員の交流の場）の実施。
- ② 各種講演会・夕涼み会・クリスマス会等のイベントの実施。
- ③ 情報誌「あいりすだより」及び利用会員のお子さまに「手作りのお誕生日カード」をお届けしております。

保育ルーム「あいりす」では、マンツーマンの保育サポーター制を取り入れていますので、お子さま一人一人に寄り添った保育の実現により、安全で楽しい時間を過ごしていただけます。

また、様々なサポートを実施いたしておりますので、どのようなことでも是非ご連絡ご相談ください。

一例ですが、「こんな時、こんなサポートができます」を参考までにご紹介します。



利用例①こんな時・・・手続き編

こんな時は・・・	こんな対応ができます	備考
初めて利用するので不安がある	“あいりすタイム”へ親子で是非出席してください。 毎月第4月曜日10:30~11:30保育ルーム“あいりす”で利用会員様相互のコミュニケーションの場として“あいりすタイム”を実施しています。お子さまがルームに慣れていただくよいチャンスです。（料金はかかりません）	毎回楽しい遊びを企画しています。 当日身体測定を実施、身体測定カードをお渡しします。
一時保育・病児保育で予約時間内のお迎えに間に合わない	事前連絡を頂ければ30分単位での追加保育が可能です。（ただし、事前連絡がない場合は規定の1時間の追加料金となります）	一時保育は20時 病児保育は18時までの予約となります。
緊急のお預け等で食事の持参ができなくなった	レストランラボより食事（昼食・夕食）の取り寄せができます。当日10時まで申込みください。（1食500円です） *食物アレルギーのお子さまのお食事は必ずご持参ください。	【ラボメニュー】 ・お子さまランチ ・ミートスパゲティ ・おうどんセット ・たまごうどん
利用代金の支払いに手間がかかるのでは	足利銀行の「銀行預金口座自動振替」となりますので手間がかかりません。入会手続き時に同時手続きとなります。	毎月末締切の翌月20日の自動引落としとなります。

利用例②こんな時・・・病児保育編

こんな時は・・・	こんな対応ができます	備考
お子さまが38.2度の熱がある、病児保育の利用ができるのか	「診療情報提供書」にかかりつけ医・小児科医の「診断の結果、病児保育の利用が可能と判断します」との署名捺印があればお預りできます。また、医師・研究者キャリア支援センターホームページ「診療情報提供書」より「病児保育利用判断基準」の確認ができます。	詳しくは医師・研究者キャリア支援センター病児保育担当看護師まで 外線：0285-58-7561 内線：3943
もし、保育ルーム“あいりす”の病児保育が満室の場合は	病児保育の定員は4名です。もし、満室の場合は、自治医大近隣の病児保育を受け入れている施設を紹介いたします。ただし、詳細については各利用会員様が直接紹介の施設に連絡・確認ください。	利用にあたり、事前登録制等の条件がある場合がありますのでご注意ください。

利用例③こんな時・・・送迎・ルーム編

こんな時は・・・	こんな対応ができます	備考
お子さまの習い事の送迎・保育は可能か	学童保育からお子さまの習い事（公文・ピアノ・サッカー等）から自宅または、保育ルーム“あいりす”までの送迎・保育が利用できます。	保護者・お子さまとの事前顔合わせが必要です。
出産入院中お子さまの学童保育終了時間以降の保育について	会員宅・保育ルームまでの送迎または、20時までの保育ルーム“あいりす”でのお預りができます。もし、20時を過ぎる場合は夜間保育となりますので2週間前の予約が必要となります。	急遽20時以降の保育が必要な場合、一度保育ルームへご相談ください。
いつも預かってくれていた祖母が急遽お預りができなくなった	サポート会員がお子さまの自宅までお迎えに行き、保育ルームで保護者の方のお迎えまでお預りします。	
急患（急用）が入り保育園への時間内のお迎えができなくなった	保育ルーム“あいりす”へ送迎依頼の連絡を頂ければ、お子さまを保育園までお迎えに行き、ご自宅までお送りします。	お迎えの保育園へ、保育ルーム“あいりす”の〇〇保育士がお迎えに行く旨の連絡をお願いします。
育休中で、保育園に預けていないけれど、勉強会に出席したい	利用会員の方がお戻りになるまで、保育ルーム“あいりす”でお預りができます。	

保育ルーム「あいりす」ではサポート会員を募集しています。

お子さまが大好きで子育て経験がある方であればなだでもOKです。

興味のあるお知り合いの方をご紹介してください。

詳しい内容につきましては、下記保育ルーム「あいりす」までお問い合わせをお願いします。

医師・研究者キャリア支援センター

内線：2448

mail: career-support@jichi.ac.jp

保育ルーム「あいりす」

内線：2445

直通：0285-58-7572



平成30年度の予定

6月 サポート会員交流会

8月 「あいりす」夏祭り

9月 All Jichi Project

10月 「働き方を考えるセミナー」講演会

パパ・ママと子どもの食事のはなし

11月 小児科医からパパ・ママに伝えたいこと

12月 サポート会員懇親会・救急蘇生法(BLS)

「あいりす」クリスマス会

2月 次世代医師・研究者交流会講演会

※ Jichi Joy Café (6月・11月・翌年2月開催)

